

しが国際協力親善大使レポート

うだ ようすけ
卯田 洋介さん

隊次：2017年度3次隊

職種：品質管理・生産性向上

派遣国：フィジー共和国

自己紹介

滋賀県生まれで滋賀県育ちです。物心つく頃からサッカーをしていました。イギリスやスペインなど海外のサッカーに昔から興味があり、また洋画もよく観ていたこともあり自然と海外に興味を持つようになりました。高校を卒業後は本格的な競技としてのサッカーを辞め、英語を学ぶため外国語大学に入学しました。在学中はカナダへの留学、アメリカ、メキシコなどへのバックパッカー旅行を経験し、卒業後は海外との取引もある地元のメーカーに就職しました。約8年間の職務経験後に青年海外協力隊に応募しました。

元々、協力隊のことは昔から知っており、大学卒業後直ぐに応募しようとしたのですが、当時は経験が圧倒的に不足しており、応募できる職種を見つけることができませんでした。そこで、社会人経験を積んでタイミングが来たら応募することにし、今回のタイミングになりました。配属先での業務内容は職場内の5Sなどの改善活動で、前職の経験をフルに活かせると感じています。

前職では原価削減の為に改善活動を行うことが多く、5Sの必要性は痛いほど痛感しておりました。人員が少なく、設備投資などにもお金が掛けられない中小企業では、製品の誤発送や、製品の不具合などが起こりやすく、社員間での口論も多く発生し、その結果作業効率が悪くなるの無限ループに陥りやすいです。それらの原因の多くは、人員不足による業務多忙により、確認作業など適切なプロセスを踏まなかった（踏めなかった）ことが殆どです。よって、限られた予算の中で、効率良く仕事を行い、生産性を向上させる為には5Sや改善活動は必須の課題であると考えています。それら改善活動を行うことにより、人員不足や、設備不足を補って余りある成果を出せると感じています。日本の中小企業と、途上国で共通点は必ずあるので、日本で経験した5S、改善活動を途上国でも実施できたらと思うと大きなモチベーションになります。それらが協力隊に応募した大きな動機になります。

活動国の地域の気候や文化の紹介

配属先のある首都のスパは亜熱帯気候で、年中雨が降り、年間を通して非常に暑いです。雨は毎日降るため、晴れていると思えば洗濯物を干したまま外出したら、帰宅後、洗濯物が大雨に晒されているのはザラです。

原住系フィジー人とインド系フィジー人が6割3割くらいの割合で共存しています。配属先の比率も同じくらいです。フィジーがイギリスの植民地支配下の時代に、サトウキビの栽培の為に移民してきたのがインド系フィジー人とのことです。働き者のインド系フィジー人と、どちらかというマイペースな原住系フィジー人が共存して生活しているのがここフィジーです。

活動や生活について

配属先はフィジー周辺各国を含め、医薬品、医療機器などを一括調達し、フィジー全土の医療施設や、周辺国へ配送を行っている保健省管轄の物流センターです。課題は常に需要超過が続いている点です。慢性的に倉庫内に商品が溢れ返っているのが現状です。5S活動の始まりは必要なものと、不必要なものを識別して不要品を廃棄することにあります。それらを改善項目の一つに挙げて、各担当部署と協力しながら改善を進めています。しかし配属一年目は予め計画を立てて既存の5S委員会メンバーと、5Sミーティング日時を決めても、それぞれの部署の業務多忙によってメンバーが集まらないことや、それぞれの課題を提示したところで、どうしても日常業務が優先となってしまう、活動が進まないことも多々ありました。改善策として、1週間に20分だけでも必ずミーティングを開いて、活動進捗状況を共有するようにしました。各ミーティングで議事録を書き、月1度の全体ミーティングで活動内容の進捗状況の発表をするようになってから、少しずつですが活動が進むようになりました。

二年目になって現在の具体的な活動内容は、週一回の清掃活動を必須活動として行っており、各部署のモニタリングや、評価も同時に行っています。また、モチベーションを保つ為に5Sで一番成長が見られた部署を定期的に表彰しています。今年に入り、JICAと保健省が中心となり、フィジー医療施設を対象とした「5S KAIZEN TQMによる保健サービスの質の向上プロジェクト」が始まりました。プロジェクト開始に伴い、新たな5S委員会メンバーの選定、各部署に5S担当オフィサーを任命、社内全体へプロジェクト内容の周知を行いました。Issuestore部と、Procurement部を社内のパイロットエリアとして、その他の部署にも活動範囲を広げています。週一回の清掃活動は引き続き行い、その他具体的には、各部署にワークショップなどのトレーニングセッションを開催し、5SとKAIZENの手法を教えています。その後、それぞれのオフィスにKAIZEN前の写真を告知ボードに貼り付け、KAIZEN後の確認を行っています。

二年間は試行錯誤して何とか活動を続けることができました。その中でいい気づきもありました。こちらの人々はプライベートではもちろん、仕事上でも、理屈以上に感情で動く傾向があり、個人的には彼らの人柄が好きになりました。こちらが一生懸命に伝えたら分かってもらえることも多々あり、相手の為に何かをしようという姿勢で接すればこちらのことでも理解してもらえたと思います。仕事でもプライベートでも人付き合いをしていく

上で基本的なことをフィジーでの二年間を通して学びました。日本に帰ってもそれらの経験を活かしていきたいです。

社内全体ミーティングで、社内会議室での 5S ナンバーワン部署の表彰の様子。
トロフィーは 5S 委員会メンバーや、J I C A の調整員の方達の寄付で購入



各部署への 5S-KAIZEN トレーニングセッションの実施
パンフレットを支給して 5S 手法を実演して説明



月一度の社内全体ミーティングでの活動発表風景
各部署の改善前後の内容を説明



配属先に河野太郎大臣が訪問
配属先は 15 年前に日本の無償資金協力によって設立された施設
今回は視察を兼ねて訪問
活動内容の説明や、倉庫案内などもさせて頂いた



配属先の荷積みエリアにて フィジー独立記念日に仕事後に同僚とカバ会
カバはコショウ科の木の根っこを乾燥させ粉状にし、お水とミックスさせたフィジーの伝
統的な飲み物 独立記念日をカバを飲みながらお祝いしています。

